

校内各階に閲覧所設置

青葉小学校

(霧島市)

月に1回程度、朝に15分の「NIEタイム」を設ける。1月には、



朝の「NIEタイム」で設問に答える児
＝霧島市の青葉小学校

6年生が国語世論調査を分析した記事を題材に読み解き方を学習。「『正直なところ』の意味で使われている新しい表現は何ですか」といった設問に答えた。

社会や国語などの授業にも新聞を取り入れる。5年2組は、情報化社会の仕組みや課題を学ぶ社会科の授業で、米ツイッター社の経営者変更に伴う混乱を伝える記事を活用。児童は「情報の利用者として気をつけたいこと」を考えた。実践校4年目。校内各階に新聞閲覧所を設け、広報委員会の児童が毎朝掲示。新聞に親しみやすい環境を整える。NIE担当の樋渡聡子教諭は「情報を得て自分の意見を構築し、表現できるように努めてほしい」と話した。

(有田佳織)

かごしま



NIE実践校

「考えて書く力」が向上

向陽小学校

(鹿児島市)

実践校1年目。「新聞に慣れ親しみ、『書く活動に活かす』を目標に



新聞コーナーで記事を読む児童ら
＝鹿児島市の向陽小学校

掲げ、全学年対象のNIE活動に取り組んでいる。

学年ごとに新聞コーナーを設置。低・中学年には、児童が興味を持ちそうな記事を教員が選んで注目箇所に線を引き、コメントを添える工夫をしている。

6年生は、当番児童が気になった記事について感想を書く「回し読み新聞」を、毎週月・木曜に行う。平山美羽さんは「同じ記事でも人によって意見が違うのが面白い」と笑みを浮かべた。

4年生以上は南日本新聞の「若い目」などを書きし、感想をつづる家庭学習も行う。川本由香利教諭(41)は「テストでの無解答が減るなど、自ら考えて書く力が身に付いている」と手応えを語った。

(鶴園悠太)